



概略

1987年:慶応大卒、三井物産入社、2012年:系列上場会社の社長就任、イクボス式経営で利益8割増、株価2倍、残業1/4に。2016年:社長を退任し独立。小・中のPTA会長(元)、NPOファザーリング・ジャパン理事、NPOコヂカラ・ニッポン代表。家事や育児(ライフ)、商社勤務や会社社長(ビジネス)、PTA会長やNPO代表(ソーシャル)という3つの経験や視点を融合させた講演が年300回以上。NHK「クローズアップ現代」では“元祖イクボス”として特集され、AERA「日本を突破する100人」に選出されるなど多数メディアに。著書「いつまでも会社があると思うなよ!」(PHP研究所)など。

経歴

- 【Life】・1964年 神奈川県生まれ、1987年 慶応義塾大学(理工学部)卒
・フルタイム勤務の妻と、家事や子育てをシェア(例:毎朝、息子の弁当作り)
【Work】・1987年 三井物産(株)入社、
2016年 系列上場企業の社長を退任、フリーランサーとして独立
【Social】・地域 小学校PTA会長(元)、中学校PTA会長(元)、おやじの会、少年野球コーチ
・NPO NPO法人コヂカラ・ニッポン 代表、 NPO法人ファザーリング・ジャパン 理事

実績 (講演・執筆・メディア)

【最近のメディア実績】

NHK(「クローズアップ現代」で特集)、フジTV(大臣とライブ対談)、TBS、他 AERAの「日本を突破する100人」に選出、ダイヤモンド、Forbes Japan、日経新聞、読売新聞、朝日新聞、産経新聞、NewsPicks、FM東京、他

【最近の講演先】

セブン & アイ、日本銀行、トヨタ、三井物産、第一生命、全日空、朝日新聞、日本たばこ、三井住友銀行などの企業。経団連、連合、商工会議所、県庁、市役所、消防庁、早稲田大、千葉大、高校、中学校、PTAなどの団体。

【主な講演・執筆】

- 大人向け 「イクメン」、「ワークライフバランス」、「MBAよりPTA」、「成熟社会の生き方」、「自分(株)の社長になろう」
○ 企業向け 「イクボス ～職場革命～」(管理職向け)、「企業経営」 「会議は8分の1に ～新しい働き方～」、「女性活躍」
○ 保護者向け 「我が子のチカラを信じよう」 「我が子が、自立した社会人になるために」
○ 子ども向け 「キャリア構築の基本」(高校生・大学生) 「自分のチカラを信じよう」(小学生～大学生)

Life(自分ごと)
子育て、家事、家庭
趣味、勉強、親、etc

Hybrid
人生

Work(しごと)
お金をもらう
仕事
Social(社会ごと)
地域活動
社会貢献

子育てや家事「ライフ」
商社勤務や会社経営「ビジネス」
PTAやNPO活動「ソーシャル」
という“3つの経験や視点”を
融合させた講演や執筆。

NPO法人コヂカラ・ニッポン HP ; http://kodikara.org/
Mail ; info/kodikara.org

「子どものチカラを大人が借りよう」、「大人と子どもの共同事業」
「社会参画で子どもが伸びる」をモットーに、企業や地域の活性化
と、子ども教育の両方を目的に活動しているNPO法人。
最近では、「子どものチカラで地方創生」、「子どもが開発した商品
がベストセラーに」など、子どもだからこそそのチカラを活かした事業
を手掛け、メディアにも大きく取り上げられている。

NPO法人ファザーリング・ジャパン HP ; http://fathering.jp/
Mail ; gyomu@fathering.jp

「Fathering＝父親であることを楽しもう」をモットーに、父親の子育
てを支援し、働き方の見直し(WLB)や企業の意識改革、地域社会
の再生、次世代の育成までを目的に活動しているNPO法人。
イクメンやイクメン(地域活動するパパ)の普及に加え、最近では
イクボス(部下のWLBを応援しながら業績責任を果たす上司)の
普及を進めている。

Profile(460字)

1964年神奈川県生まれ、1987年に慶応大学卒業、三井物産(株)に入社、2012年に系列上場会社の社長就任、「イクボス式経営」で利益8割増、時価総額2倍、残業1/4に、などを達成。2016年に社長退任、三井物産も退職、フリーランサーとして独立した。

一方、地元の小中学校でPTA会長や少年野球のコーチなども務めてきた。

また、イクメンの先駆けであるNPO法人ファザーリング・ジャパンの理事、「子どものチカラで企業や地域が元気に、その過程を通じて子どもが伸びる」をモットーにしたNPO法人コチカラ・ニッポンの代表でもある。

子育てや家事(ライフ)、商社勤務や会社社長(ビジネス)、PTA会長やNPO代表(ソーシャル)という3つの視点や経験を融合させた講演(例;イクメン、イクボス、WLB、子ども教育、キャリア構築、PTA)が年間300回以上。

NHK「クローズアップ現代」では「元祖イクボス」として特集され、AERA「日本を突破する100人」に選出されたのをはじめ、日経新聞、朝日新聞、読売新聞、Forbes Japan、NewsPicks、ダイヤモンド、フジTV、FM東京など多数のメディアにも掲載。

著書「いつまでも会社があると思うなよ！」(PHP研究所)など。

Profile(310字)

1964年生まれ、1987年:慶応大学卒、三井物産に入社、2012年:系列上場会社の社長就任、「イクボス式経営」で利益8割増、時価総額2倍、残業1/4を達成。2016年:社長退任、フリーランサーとして独立。

一方、小中学校のPTA会長(元)、少年野球コーチ、イクメンNPO「ファザーリング・ジャパン」理事、子ども教育NPO「コチカラ・ニッポン」代表でもある。

子育てや家事(ライフ)、商社勤務や会社社長(ビジネス)、PTA会長やNPO代表(ソーシャル)という3つの経験を融合させた講演が年間300回以上。

NHK「クローズアップ現代」では「元祖イクボス」として特集され、AERA「日本を突破する100人」に選出、日経、朝日、読売、フジTVなど多数メディアに。著書「いつまでも会社があると思うなよ！」(PHP研究所)など。

Profile(200字)

1987年慶応大卒、三井物産入社、2012年上場会社社長、イクボス式経営で利益8割増、株価2倍に。2016年に社長退任し独立。PTA会長(元)、ファザーリング・ジャパン理事、コチカラ・ニッポン代表。家事育児(ライフ)、会社社長(ビジネス)、PTAやNPO(ソーシャル)という3つを融合した講演が年300回。NHK「クローズアップ現代」、AERA「日本を突破する100人」など多数メディアに。著書「いつまでも会社があると思うなよ！」。「元祖イクボス」

Profile(120字)

慶応大、三井物産を経て、上場会社社長、3年間で利益8割増、株価2倍に。講演が年300回。元祖イクボスとしてNHK「クローズアップ現代」で特集され、コチカラ・ニッポン代表としてアエラ「日本を突破する100人」に選出。著書「いつまでも会社があると思うなよ」

イクメン・イクボス用

父親の保育園送迎すら珍しかった20年前から、妻と家事育児をシェア(息子の弁当作りなど)。また、PTA会長、少年野球コーチ、NPO代表などの社会活動にもコミット。

結果、長期出張、早朝会議、深夜残業、休日出勤などが難しく、職場に「迷惑(?)」をかけてきたことも事実。その分、「成果で倍返し」をモットーに、仕事に集中し、誰からも非難されないよう心掛けてきた。

上司になってからは、「たくさん休め、早く帰れ」と部下に言いながら、業績目標の達成に努めてきた。2012年から、社長となった上場会社が「日本で一番働きたくなる会社」になるよう、働き方改革と意識改革、業務効率化と生産性向上を進め、結果、3年間で、残業時間が1/4、利益は8割増、時価総額は倍増、社員満足度は全項目が毎年「過去最高」を更新した。

モットーは、「会議は1/8になる」、「9回裏二死満塁の緊張感で仕事を」、「権利主張の前に職責果たそう」という厳しさと、「大事な私生活の予定は仕事より優先」、「私生活の充実があってこそ仕事ができる」などのWLB志向。

元祖「イクボス」として、NHKのクローズアップ現代、フジTV、日経新聞、朝日新聞などにも取り上げられ、年間140本以上の講演を実施中。著書「いつまでも会社があると思うなよ！」(PHP研究所)など。

イクボス(管理職向け)

●イクボス10か条

- ①部下の私生活を応援
- ②上司自らWLBを満喫
- ③組織目標に責任を持つ
- ④制約社員を差別しない
- ⑤社内制度等の知識
- ⑥組織全体にWLB浸透
- ⑦単身赴任への配慮
- ⑧チームワーク醸成
- ⑨無駄な時間を削減
- ⑩部下の育成を最優先

●イクボスの定義

上記の①②③を満たす
管理職・上司・経営者のこと

●イクボスになると、
「組織の成果と部下の笑顔が
共にアップ」する。

●イクボスになるヒケツ(例示)

- ・部下のライフを知る
- ・部下のWillを重視
- ・部下を信じ仕事を任せる
- ・職場内での情報共有化
- ・職場を楽しい雰囲気
- ・会議、メール、書類などの削減
- ・やらなくていいことを決めるetc

●イクボスの広がり

イクボス企業同盟に数百社加盟
100人超の自治体トップが宣言

子ども・若者向け講演

●小学生～大学生まで

「自分のチカラを信じよう」
「無いものを嘆くな、あるものを活かせ」
「好きなことを好きなだけやっていい」
「短所克服より、長所(得意)を伸ばそう」
「好きなこと×得意なこと=仕事」
「失敗OK、失敗の数だけ成功がある」
「無理して夢を描かなくてもいい」

●高校生～大学生

「就活は、就“社”ではなく就“職”を」
「就職したら、Work Life Socialを」
「プロフェッショナルな仕事人になるには」
「自分探しより、まずは目の前のことを」
「理論より実践を、理屈より行動を」
「MBAよりPTA、MBAよりNPO」
「権利主張の前に、責務を果たそう」

ワーク・ライフ・ソーシャル

仕事(Work)、私生活(Life)、社会活動(Social)の3つ全てを満喫する
3本柱(Hybrid)な人生を送ろう。

「支配される人生」や「真似事の生き方」
ではなく、「自分の人生を会社に見立て、
その社長になる」という意識を持とう。

私生活や社会活動の経験は、仕事能力
の向上にもつながる。

WLBは、会社から与えられるものではなく、自ら奪いに行くもの。
そのために、「権利主張の前に職責を果たす」意識、脱「指示待ち」、
仕事の成果を高め労働時間を減らす「生産性向上」の努力が必須。

親向けの「子ども教育」講演

●子ども教育の目的はただ一つ、
「子どもが自立した社会人になる」こと

●親が持ちたい4つの基軸

- ① 我が子のチカラを信じること
- ② 我が子から逃げずに向き合うこと
- ③ 社会のウィンドウになること
- ④ そして、笑っている親でいること

●子育て四訓

1. 乳児は、しっかり肌を離すな
2. 幼児は、肌を離せ、手を離すな
3. 少年は、手を離せ、目を離すな
4. 青年は、目を離せ、心を離すな

コチカラ(子どものチカラ)

(*)子どものチカラ(コチカラ)

斬新な創造力、既成概念に捕われ
ない発想、純粋な視点、素直、
あり余るエネルギー、真っ直ぐ
など、子どもだからこそそのチカラ



●子どものチカラ(*)を借りて、企業や地域などが実利を得る。
大人に役立つという過程を通じて、子どもは伸びていく。
一般的な職業体験との違いは、「実社会での本番」であるということ。

●コチカラProject(子ども達の実現した事例)

- ・お米のシューアイスを開発し、HIROTAで過去最高の売上げ達成
- ・地元の特産品を商品開発し、全国で販売(コチカラ地方創生)
- ・商店街の活性化を目的に、店を出し、イベントも開催
- ・あるべきスポーツ指導として10か条を策定、指導者に提示

PTA(地域活動)のススメ

●PTAに参画する10大メリット(抜粋)

- ① 知人・友人が増える
- ③ 居場所が増える
- ⑤ 先生方と親交を深められる
- ⑦ 学校に行ける
- ⑩ そして、とにかく楽しい

●参加したくなる、参加しやすくなるPTA

●PTAの4つの意義

- ① PTAは、教師のサポーター
- ② PTAが、時には親の代打
- ③ PTAで、地域が活性化
- ④ そして、地域×学校×家庭の潤滑油